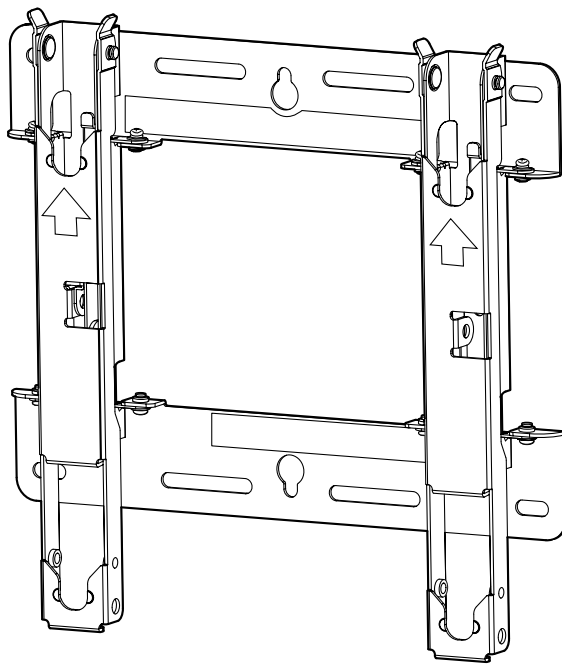
Panasonic®

# 施工説明書

## 壁掛け金具
## （垂直取り付け型）

品番　TY-WK3L1S

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」（２～３ページ）は、施工前に必ずお読みください。機器本体の取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

TQZJ413

# 安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ **警告** | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠ **注意** | 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**（次は図記号の例です）

| | | |
|---|---|---|
| してはいけない内容です。 |  実行しなければならない内容です。 |  気をつけていただく内容です。 |

## ⚠ 警告

**■ 工事専門業者以外は取り付け工事及び接続機器の増設や取り外しを行わないでください**

工事の不備により、落下してけがの原因となります。

**■ 荷重に耐えられない場所に取り付けないでください**

取り付け部の強度が弱いと、落下してけがの原因となります。

**■ 壁掛け金具を分解したり、改造しないでください**

落下したり、破損して、けがの原因となります。

**■ 取り付け強度上の安全係数を配慮してください**

強度が不足すると、落下してけがの原因となります。

**■ 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保してください**

長期使用により設置場所の強度が不足すると、落下してけがの原因となります。

## ⚠ 注意

**■ カタログで指定した機器以外には、使用しないでください**

落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

**■ あお向けや横倒し、逆さまに取り付けて設置しないでください**

機器内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

**■ 指定方法以外の取り付けは行わないでください**

落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

**■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱が当たる所に取り付けないでください**

機器に悪影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

# ⚠ 注意

**■ 通風孔をふさがないでください**
**■ 壁掛け金具使用時は機器本体後面と壁面との空間をふさがないでください**

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

**■ 機器本体の上下 10 cm、左右面は50 cm 以上、後面は空間を確保してください**

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

**■ 機器本体の取り付け、取り外しは 2 人以上で行ってください**

機器本体が落下して、けがの原因となることがあります。

**■ 取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください**

壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

**■ 取り付けの際は、専用の構成部品をご使用ください**

機器本体が落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

**■ 機器本体を取り外す場合には、壁掛け金具も取り外してください**

壁掛け金具にあたるなどして、けがの原因となることがあります。

**■ 取り付け工事の際は指をはさまないようにご注意ください**

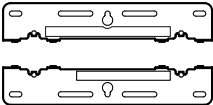
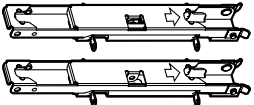
けがの原因となることがあります。

## 取り扱い上のお願い

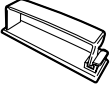
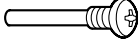
1）直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。

2）壁掛け金具のお手入れは、柔らかい乾いた布（綿・ネル地など）でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。
（機器本体のお手入れは機器本体の説明書に従ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。）

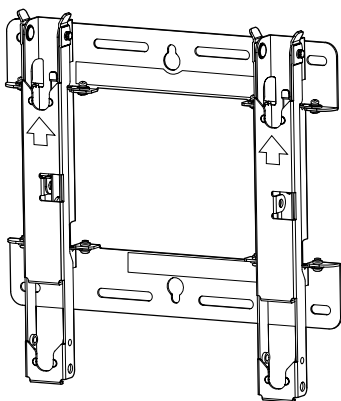
3）粘着性のテープやシールを貼らないでください。壁掛け金具の表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。（変質の原因となります。）

4）設置時、衝撃などによる機器本体の「パネル割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

**■ 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。**

# もくじ

# 構成部品

## 壁掛け金具組み立て用部品

| 1 ベース上下金具　（2 個） | 2 ベース左右金具　（2 個） | 3 金具組み立て用ねじ M４×８（8本） |
| --- | --- | --- |

## 取り付け用部品

| | |
| --- | --- |
| A 絶縁スペーサー取り付け用皿ねじ M６×26（4本） | E 位置決めシール（2 枚） |
| B 皿型歯付き座金（4 個） | F クランパー（2 個） |
| C 絶縁スペーサー（4 個） | G 六角レンチ（付属工具）（1 個） |
| D 本体抜け防止用ねじ（2 本） M５ | |

■イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。
■製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

## 取り付け工事上の留意点

■ **工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事を行わないでください。**
工事の不備により、落下して、けがの原因となります。

■ **本機は機器本体を垂直の壁に取り付けてご覧いただくための壁掛け金具です。**
**垂直壁以外の場所に取り付けて使用しないでください。**

■ **機器本体の性能保証やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。**
● スプリンクラーや感知器のそば
● 高圧線や動力源の近く
● 暖房機器の風が当たる所
● 振動や衝撃の加わるおそれのある所
● 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
● エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所

■ **取り付け場所の構造や材質にあった工法で取り付け工事を行ってください。**

■ **壁面への取り付けねじは、壁面の材質（木材、鉄骨、コンクリート等）に合った市販品の呼び径 6 mm 相当のねじをご使用ください。**

■ **機器周囲温度が 40℃を超えることがないように空気の流通を確保してください。**
機器本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

■ **取り付け工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。**

■ **ねじ止めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。**

■ **本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。**

■ **取り付け工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。**

■ **シーリングライト（スポットライト・ハロゲンライトなど）の下に機器本体を取り付けないでください。**
高熱によりキャビネットが曲がったり、いたんだりするおそれがあります。

## 業者様へのお願い

■ **壁掛け金具取り付け工事と機器本体取り付け工事を別の業者様が行う場合は、壁掛け金具取り付け工事後に機器本体取り付け工事を行う業者様へ、この説明書をお渡しください。**

■ **工事終了後はお客様へこの説明書をお渡しください。**

# 取り付け工事手順

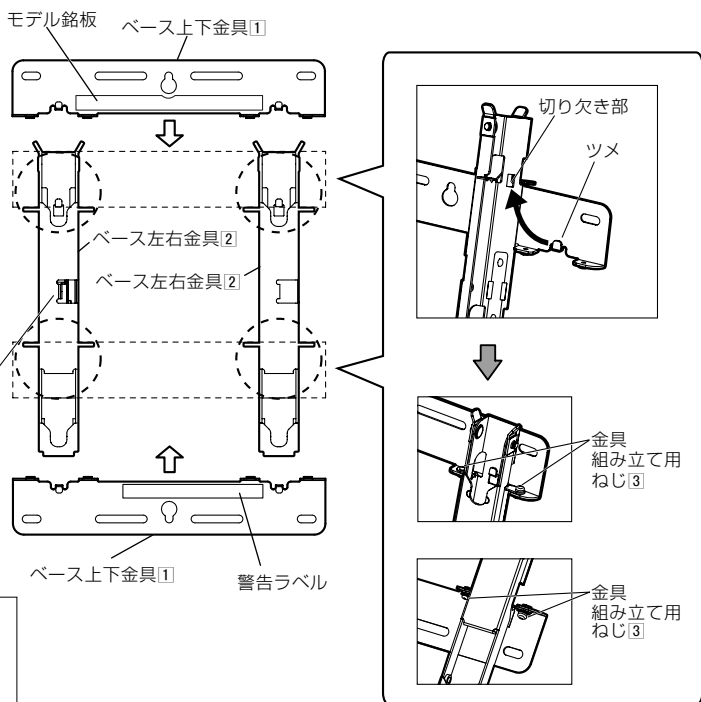
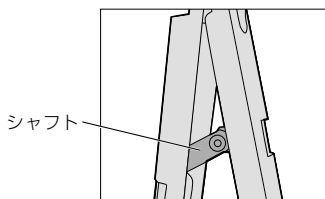
## 1. 壁掛け金具の組み立て

① **ベース上下金具1とベース左右金具2を図のように置いてください。**

② **ベース上下金具1の突起部（ツメ）を、ベース左右金具2の切り欠き部にはめ込み、金具組み立て用ねじ3（8 本）で固定してください。**
（締め付けトルクは 1.2～1.5 N·m）

**お願い**

- 組み立てた壁掛け金具の取り扱いはベース左右金具を持って行ってください。
  ベース上下金具を持つと変形するおそれがあります。

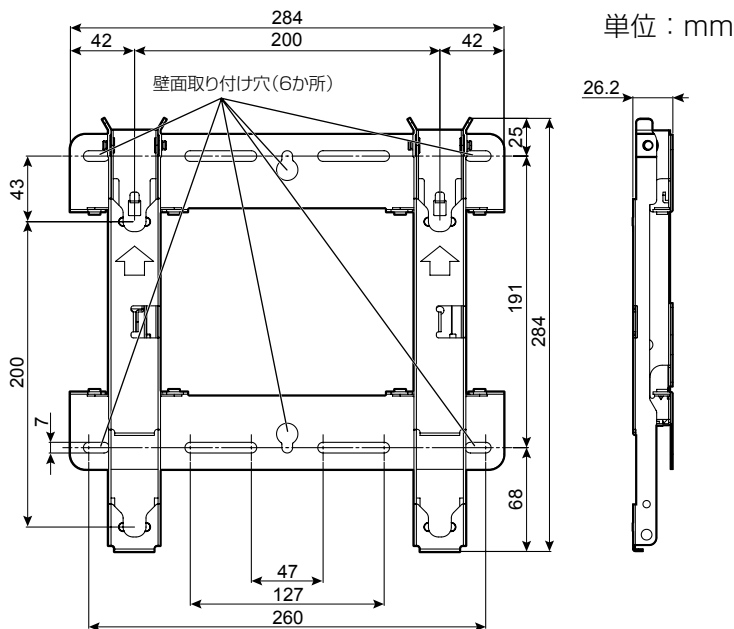
シャフト有りのベース左右金具2を左側に取り付けてください。

## 2. 取り付け場所の強度確認

① **壁掛け金具の質量は約 1.2 kg です。壁掛け金具に取り付ける機器本体の質量を、機器本体の取扱説明書でご確認ください。**

② **右図壁掛け金具の寸法図を参照のうえ、6 か所の取り付け位置の壁面強度確認を行い、強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。**

**お願い**

- 壁掛け金具には上下各 5 か所の取り付け穴が開けてあります。壁面の材質が木材などで、右記 6 か所の固定では取り付け強度が確保できない場合は、予備の穴もご使用ください。ただし、取り付け部の材質によっては近接した位置にねじ止めをすると、ひび割れが発生する場合がありますのでご注意ください。

単位：mm

**※必ずねじで固定してください。**

## 3. 壁面への壁掛け金具の取り付け

対応機種との組み合わせ寸法については、弊社ホームページ掲載の
「仕様書・設置工事説明書」のＵＲＬ（http://panasonic.jp/viera/dl/manual.html）をご確認ください

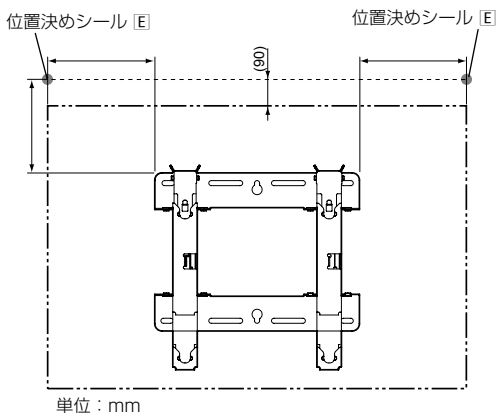
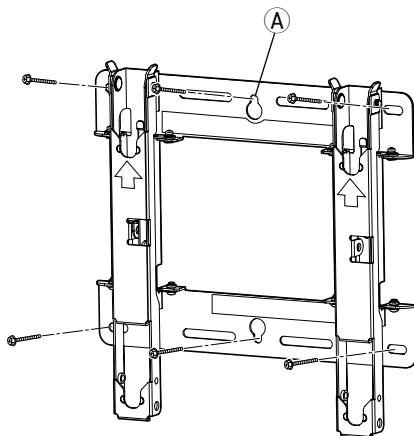
① 壁掛け金具に表示されている矢印が上を向く状態に取り付けてください。

② 最初に上部中央の穴 Ⓐ をねじ止めしてください。

③ 水平器を使い金具の傾きを修正後、残り５か所の穴をねじ止めしてください。

**お願い**

- 壁面がコンクリートなどで、事前にねじまたはナットを埋め込む必要がある場合は、壁掛け金具の現物合わせで穴位置を出すか、寸法図をもとに穴位置を割り出し、「呼び径６ mm相当」のねじまたはナットを埋め込んでください。なお、ねじを埋め込む場合は、壁面からのねじの飛び出しは 10 mm ～ 15 mmにしてください。
- 壁面への取り付けねじは、取り付け部の材質に合った市販品の呼び径６ mm相当のねじをご使用ください。
- 必ずねじで6か所以上固定してください。

④ 機器本体を取り付ける目安として、右図と同じように位置決めシール Ｅ（2 枚）を壁に貼ってください。
貼り付け位置（左右 2 か所）は外形寸法図（WEB の仕様書・設置工事説明書）をご参照ください。
・位置決めシールは、機器本体より 90 mm 上の位置に貼り付けてください。

# 取り付け工事手順（つづき）

## 4. 機器本体への絶縁スペーサー取り付け

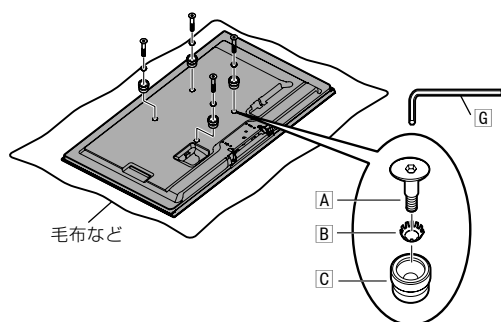
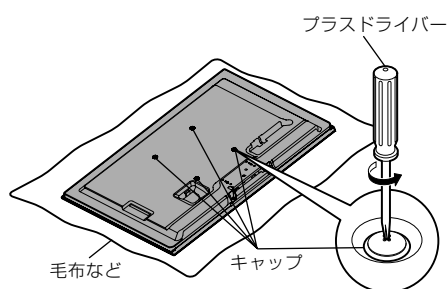
＊ 機器本体のイラストは機種により異なります。
以下は対応機種の一例です。

① **汚れや異物がついていないきれいな毛布などの上に、機器本体の前面部を置き、次の手順で行ってください。**
**機器本体に突起部がある場合はキズや破損に注意してください。**

② **機器本体からキャップ（４個）をプラスドライバーで取り外してください。**

**お願い**

● 取り外したキャップは大切に保管してください。
（据置きスタンドを使用する場合に必要です。）

③ **キャップを取り付けていた所へ付属の絶縁スペーサー取り付け用皿ねじ 🄰、皿型歯付き座金 🄱、絶縁スペーサー 🄲（各４個）を付属の六角レンチ 🄶 で右図のように取り付けてください。**
( 締め付けトルクは 1.5 ～ 1.8 N･m )

## 5. 機器本体の壁掛け金具への取り付けと固定

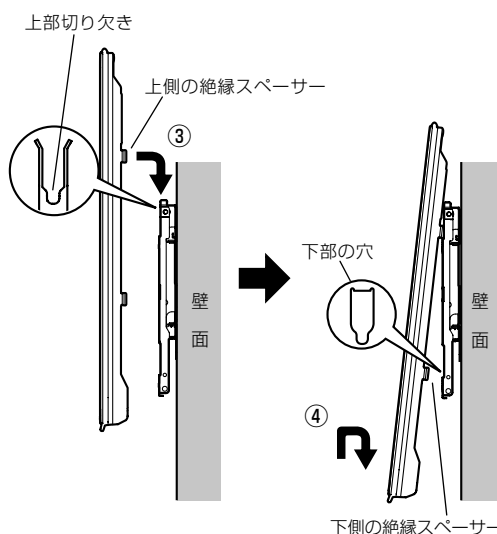
① **電源コード、各種接続機器ケーブルを接続してください。**

**お願い**

● 電源コード、各種接続機器ケーブルの配線処理は機器本体を壁掛け金具へ取り付けた後に行ってください。配線処理を先に行うと機器本体を壁掛け金具へ取り付けられない場合があります。

② **壁に貼り付けた位置決めシールを目安に、機器本体上部の左右を合わせる。**

③ **機器本体上側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体上部の切り欠き部に引っかけ、そのままゆっくり下げます。**

④ **機器本体を少し持ち上げながら、下側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体下部の穴に差し込み、機器本体をそのまま下げます。**

**機器本体を必要以上に持ち上げないでください**

機器本体を持ち上げすぎると落下してけがの原因となることがあります。

⑤ **機器本体を手前に引き出し、本体抜け防止用ねじ Ⓓ（2本）を壁掛け金具本体側面（左右）の抜け防止用ねじ取り付け穴 Ⓐへ（各1本）取り付けてください。**
（締め付けトルクは 1.2 〜 1.5 N·m）

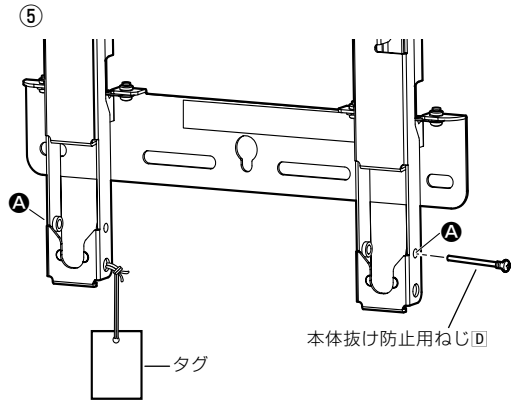
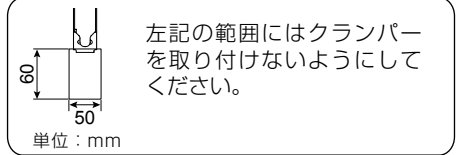
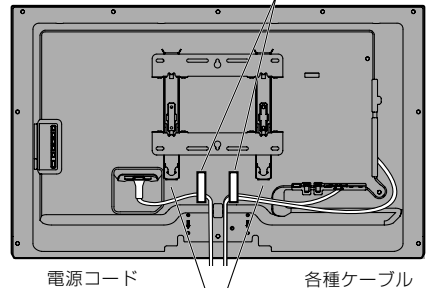
**お願い**
- 機器本体の外れ防止のために必ず左右の本体抜け防止用ねじⒹを根元まで確実に締め付けてください。

⑥ **電源コード・各種接続機器ケーブルの配線処理を行ってください。**
**配線処理はクランパー Ⓕ（2個）を使って行ってください。**

**お願い**
- 画面に妨害が出る場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。
- 機器本体を前後に動かしても電源コードや各種ケーブルを壁掛け金具にはさみ込まないように処理してください。

⑦ **機器本体を垂直に戻してください。**

⑧ **機器本体下部中央を押して機器本体を垂直に固定してください。**

**お願い**
- 機器本体を軽く手前に引いて、ロックされていることを確認してください。
- 本体抜け防止用ねじⒹを締め付けた後、機器本体を持ち上げて上に動かないことを確認してください。

## 機器本体の取り外しかた

**お願い**
- 誤って機器本体抜け防止用ねじが落下し、床を傷付けるおそれがあります。機器本体の下に柔らかい毛布や布を敷いてください。

① **機器本体を手前に引き出し、クランパーから電源コードや各種ケーブルを外してください。**

② **壁掛け金具本体側面(左右)の本体抜け防止用ねじ Ⓓ（各1本）を取り外してください。**

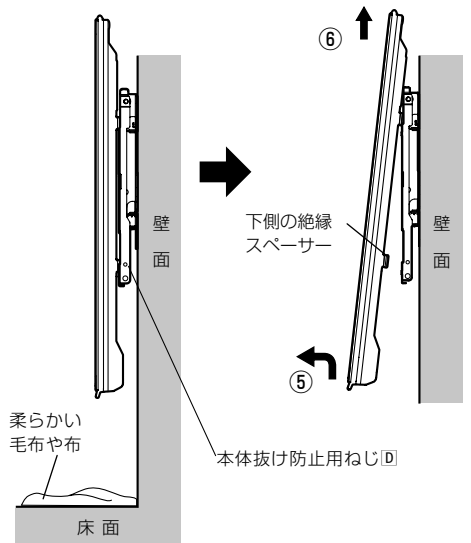
③ **機器本体を垂直に戻してください。**

④ **機器本体下部中央を押して機器本体を垂直に固定してください。**

**お願い**
- 機器本体を軽く手前に引いて、ロックされていることを確認してください。

⑤ **機器本体の下部を持ち上げながら手前に引きます。**

⑥ **下側の絶縁スペーサーが外れたらそのまま上に持ち上げます。**

⑦ **取り外した機器本体は、前面と後面に負担がかからないように、立てた状態で取り扱ってください。**

# SD カードの挿抜について

## SD カードの挿抜についてのお願い

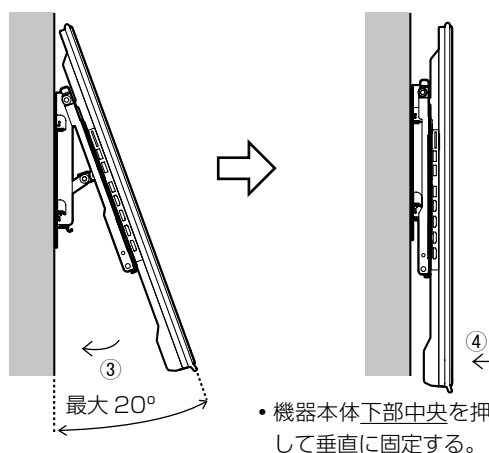
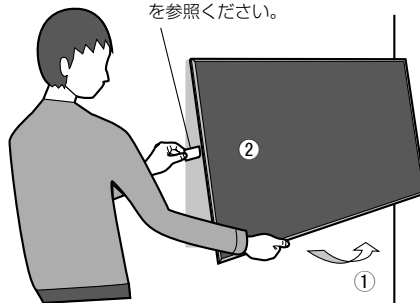
**機器本体を壁掛け金具に取り付けた状態で SD カードの挿抜を行う場合は下記手順で行ってください。**

① **機器本体下部を持ち、機器本体を手前に引き出しロックを外します。**

② **機器本体下部を手前に引いた状態で機器本体の側面に SD カードを挿入してください。**
- SD カードのご使用は機器本体説明書を参照ください。

③ **機器本体を垂直に戻してください。**

④ **機器本体下部中央を押して機器本体を垂直に固定してください。**
- 機器本体を軽く手前に引いて、ロックされていることを確認してください。

• 機器本体下部中央を押して垂直に固定する。

## SD カード取り出しかた

**挿入の時と同じ手順で SD カードを取り出してください。**

## ⚠ 警告

■ **メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください**

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ **周囲に人がいる場合は機器本体を引き出したり、戻したりしないでください。**

機器本体と壁や金具に手や指がはさまり、けがの原因になることがあります。

## ⚠ 注意

■ **取り付け工事・SD カードのご使用の際は、指をはさまないようにご注意ください**

けがの原因となることがあります。

## ●使いかた・お手入れなどのご相談は

| パナソニック 総合お客様サポートサイト |
|---|
| http://panasonic.co.jp/cs/ |

**パナソニック VIERA(ビエラ)ご相談窓口** 365日 受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-981**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**
**Tokyo** (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

＊ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

**【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町１番15号


M0312-0